

花葉会総会

平成 24 年 10 月 21 日(日)午後 2 時より、平成 23 年度花葉会総会が、千葉大学園芸学部 100 周年記念戸定ヶ丘ホールにて開催されました。出席者は学生も入れて 45 名、久保田芳久幹事の司会進行で定刻通り開始。

平成 24 年 3 月で園芸学部教授を退官された安藤敏夫会長より、開会の挨拶。

午前中に開催された幹事会で推薦を受けた長岡求幹事長が議長に指名され、議事に入りました。



開会のあいさつをする安藤敏夫名誉教授

平成 23 年度事業報告

(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

- ①平成 23 年 10 月 23 日 総会
- ②花葉会賞の贈呈
23 年度の受賞者は、熱田健氏(昭和 39 年園芸学科卒)、奥藤敏二郎氏(昭和 40 年園芸学科卒)、畑井昭一郎氏(昭和 40 年園芸学科卒)、宮田増美氏(昭和 40 年園芸学科卒)の 4 名でした。
- ③平成 23 年 12 月 10 日「花葉」30 号発行。
- ④平成 23 年 12 月 18 日「3.11 被災花卉生産者のための義援金」贈呈式
- ⑤平成 24 年 4 月 8 日安藤敏夫先生退官記念祝賀会
- ⑥平成 24 年 6 月 23～24 日第 28 回花葉会サマーセミナー開催
- ⑦平成 24 年 6 月 26 日～7 月 5 日第 21 回海外園芸事情調査(オランダ、トルコ、ブルガリア)。
- ⑧花産業必携 1000 属検定。
- ⑨幹事会の開催は、平成 23 年 9 月 4 日、10 月 23 日、12 月 17 日、平成 24 年 1 月 21 日、2 月 11 日、3 月 25 日、6 月 2 日、6 月 24 日、8 月 25 日の 9 回。

平成 23 年度会計報告

- ①一般会計報告

収入の部

(平成 24 年 8 月 31 日現在)

前年度繰越金	480,053
会報広告料(30号)	974,790
書籍売上	35,120
協力金	725,520
総会余剰金	12,000
安藤先生退官祝賀会余剰金	56
基金より繰入(三井住友普通預金)	1,600,000
基金より繰入(三菱東京UFJ定期解約)	8,099,996
基金より繰入(〃 普通預金)	1,046
雑収入	17,087
預金利息	494
合 計	11,946,162 円

支出の部

印刷費	94,975
会報関係	913,024
通信費	21,352
運送費	6,350
記念品代	176,925
会議費	345,529
事務費	339,098
賃金	783,120
慶弔費	4,987
税金	69,876
義援金事業へ	4,965,946
セミナーへの補填	131,433
合 計	7,852,615 円



会場となった千葉大学園芸学部 100 周年記念戸定ヶ丘ホール



ホール入り口



総会風景

差引残高 4,093,547 円

② 第 28 回 2012 年花葉会サマーセミナー会計報告

平成 24 年 6 月 23、24 日 千葉大学けやき会館にて開催

参加者数 111 名（他：幹事、講師、記者、花卉展示、書籍販売、学生等関係者 89 名）

収入

受講料

20,000 × 93 名 1,860,000

その他割引分 18 名 311,000

合計 111 名 2,171,000 円

支出

会場費 723,900

印刷費 415,500

講師謝礼 400,000

講師旅費 211,030

学生・幹事交通費 141,000

通信費 225,200

運送費 7,060

事務費 19,174

会議費 64,666

税金 44,441

備品費 50,462

合計 2,302,433 円

差引 -131,433 円

* 一般会計より補填

③ 基金報告

(平成 23 年 9 月～平成 24 年 8 月)

前年度残高 21,833,026

醸金 100,000

定期利息 5,345

普通利息 46

一般会計へ繰入れ △ 9,701,042

合計 12,237,375 円

会計監査報告

会計監査の河野寛司氏・篠田朗彦氏を代表して、河野監事より、「平成 23 年度の会計収支の監査の結果、事務処理および諸帳簿の記載は正確かつ適正に行われていたことを報告します」と、報告がありました。

平成 24 年度事業計画

(平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

① 「花葉」31 号 発行

② 花産業必修 1000 属検定

③ 第 29 回 2013 年花葉サマーセミナー開催

平成 25 年 7 月 20・21 日（土・日）

会場：千葉大学園芸学部合同講義室

懇親会会場：緑風会館 2 階

④ 第 25 回海外園芸事情調査

⑤ 総会、花葉会賞の贈呈

⑥ 東日本大震災被災花卉生産者支

援事業（奨学金支給）

なお、③のサマーセミナーは専門委員会を設立。新しい形でセミナーを企画中と、説明がありました。

平成 24 年度予算

(平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

収入の部

前年度繰越金 4,093,547

会報広告料（31 号分） 950,000

サマーセミナーテキスト売り上げ 20,000

その他の収入 129,153

基金より繰り入れ 0

預金利息 300

合計 5,193,000 円

支出の部

印刷費 120,000

会報関係 950,000

通信費 100,000

運送費 10,000

記念品代 150,000

会議費 350,000

事務費 200,000

賃金 600,000

慶弔費 50,000

税金 70,000

雑費 13,000

次年度へ繰り越し 2,580,000

合計 5,193,000 円



新会長の三吉一光教授

新顧問 横井政人名誉教授

役員改選

安藤敏夫会長の平成 24 年 3 月末退官に伴い、今年度に延期されたものです。

新会長 三吉一光教授
新名誉会長 安藤敏夫名誉教授

以上の議題は、事務局の國分尚副会長から説明があり、拍手を持って承認されました。

ここで会長として就任した三吉一光教授より、挨拶と大学の近況

報告がありました。「昭和 55 年本校を卒業。平成 24 年 4 月に千葉大学大学院園芸学研究科教授に就任しました。アクティビティの高い花葉会の会長になりましたこと、重大な責務と思っています。皆さまのご協力のほどよろしく願いいたします。花卉園芸学研究室は、今年度、博士前期 2 年 4 名、マスター 3 名、学部 4 年 5 名、10 月より学部 3 年 7 名が加わり 19 名。國分尚准教授が環境健康フィールド科学センター専任から大学院園芸学研究科に配置換え。渡辺均准教授は園芸学部の研究室から独立して柏の葉キャンパスのフィールド科学センターに研究室を設けました。フィールド科学センターの有期雇用から正規の教員となった松原紀嘉助教とともに、教育・研究活動を行っています。なお、別科の廃止が議論されていますが、当分棚上げとされるようです」。

報告

安藤敏夫名誉会長より、平成 23 年度の花葉会事業「3.11 被災花卉生産者のための義援金事業報告」がありました。「275 件、5,711,567 円の義援金が集まり、花葉会から



花葉会賞受賞者挨拶をする齊藤正二氏



花葉会賞受賞者の杉村素生氏



受賞記念講演をする浅井信之氏



認定証を受ける 1000 属検定試験 B 級合格者の富木悠氏

の協力をいただいて、被災 5 県へ 10,280,000 円の義援金を贈ることができました。会員の皆様には多大なご協力をいただいたことに深く感謝します。詳細は 38 ページに掲載してあります。なお、「東日本大震災被災花卉生産者支援事業（奨学金支給）」は今年度は応募がありませんでしたが、引き続き来年度も募集が行われます。

穂坂八郎賞贈呈

総会に引き続いて穂坂八郎賞の贈呈がありました。

村井千里幹事より「昭和 38 年（1963）3 月に教授を退官された穂坂八郎先生が平成 4 年に亡くなられ、お香典の一部が花葉会に寄付されました。これをもとに、後任教授の小杉清先生が穂坂八郎賞を発案。これは花卉園芸学研究室の教授として教育に尽力し、研究に業績をあげた人に贈るものです。横井政人名誉教授に続いて、安藤敏夫名誉教授は二人目の受賞者となるものです」と賞の主旨を説明。三吉一光会長より、賞状と副賞が贈られました。なお、安藤敏夫名誉教授の業績等は 14～19 ページを参照してください。

花葉会賞贈呈

次に花葉会賞の贈呈がありました。長岡求幹事長より、齋藤正二氏（昭和 39 年園芸学科卒）、杉村

素生氏（昭和 40 年総合農学科卒）、浅井信之氏（昭和 42 年園芸学科卒）の 3 名を紹介。三吉会長より賞状と記念品が授与されました。

タイから駆けつけた齊藤正二氏、九州からお越しの杉村素生氏より、挨拶がありました。

花卉産業必修 1000 属検定試験 A、B 級合格者認定証授与

A 級・B 級 野田沙緒里氏
B 級 富木 悠氏

今年度の合格者は 2 名。出席した富木悠氏に、三吉会長より認定証が授与されました。

受賞記念講演

浅井信之氏より、「洋ランの国際的リレー栽培について」と題して、講演が行われました。

懇親会

午後 4 時より、緑風会館 2 階にて、松原紀嘉幹事の司会進行で懇親会が始まりました。

乾杯の発声を野田卯一郎氏が行いました。安藤敏夫名誉会長より、横井政人顧問の近況報告。「8 月に 20 日ほど入院。長時間の外出はできないが、現在はお元気のこと」です。途中、総会出席者最年少の萩原静氏より挨拶が入るなど。あちらこちらで話の輪が広がり、終始和やかな雰囲気で行われ、福永哲也幹事の閉会挨拶と 1 本締めで、盛会のうちに終了しました。

（文責：編集部）



緑風会館 2 階で行われた懇親会



最年少者は平成 24 年卒の萩原静氏



懇親会にて